

はじめに

- 川崎再生から「新たな飛躍」に向けた「不断の改革」 -

私は、行財政改革の断行による「川崎再生」を掲げて川崎市長に就任して以降、2002（平成14）年7月に「財政危機」を宣言し、行財政改革を市政運営の最重要課題に位置づけ、「川崎再生」に向けて3次にわたる「行財政改革プラン」に基づく改革を着実に推進してきました。

こうした取組により、「2009（平成21）年度予算において収支均衡を図る」という第1次行財政改革プランからの財政的な目標を達成するとともに、改革の成果について子ども関連施策をはじめとする市民サービスに還元するなど、当初の「川崎再生」の取組は概ねその目的を達成しつつあります。

しかしながら、現在、日本社会をとりまく環境が大きくかつ急速に変化し、国・地方を通じた財源不足の大幅な拡大、さらには、このたび発生した未曾有の大災害の影響など、国全体が極めて厳しい状況下にあり、これまで行財政改革の取組を着実に進めてきた本市も再び厳しい状況に直面しています。

このように急激な環境変化の中においても、「市民生活の安定の確保に必要な市民サービスを着実に提供する」という地方自治体の責務を果たしていくためには、今後も「不断の改革」に取り組むことが大変重要です。

こうしたことから、「新たな行財政改革プラン」を策定し、やがて来る人口減少期を見据えて、「元気都市かわさき」が20年先、30年先と持続的に発展していけるよう、「新たな飛躍」へ向けて「不断の改革」とともに「活力とうるおいのある都市づくり」を進めます。

今後、この「新たな行財政改革プラン」の取組を着実に推進し、「再び直面する厳しい状況を乗り越える」とともに、「将来の人口減少社会を見据えた公共サービス提供システムへの転換」を進め、右肩上がりの経済成長を前提とした行財政システムからの確実な脱却と「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の実現に向けて、全力で市政運営に取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

川崎市長 **阿部孝夫**